

佐原の町並み

かわら版

第7号

平成8年12月

・小野川と佐原の町並みを考える会

・佐原町並み保存会

佐原が注目されたシンポジウム

「覚悟しなさい」とアグネスチャン談

県企画部の主催によるシンポジウムが、十一月十二日に佐原市文化会館において開催されました。

小さな世界都市とは、地域の資源や個性を活かしたまちづくりを世界に広めていくということ、飛騨の高山市や大分県の湯布院があげられます。

特別講演のアグネス・チャンや北原教授の基調講演の後、パネラー六名によるディスカッションが行われ、佐原の町並みを活かしたまちづくりが提案されました。

アグネスは、「覚悟を決めて、皆で参加することが、まちづくりを成功させる」と断言しました。

佐原市からは、小森孝一商工会議所副会頭が参加し、祭りによるまちづくりを強調しました。



(北田明子氏)

アグネスさんに「ガツーン」と！
「小江戸佐原・小江戸なんて取ってしまつて、佐原を正面にアピールしなさい！文化資産も町並みも立派なものがあるじゃないですか。」にガツーンと一発まいりました。さすがは世界を舞台に活躍しているアグネス、言葉にパンチが効いてました。
彼女のみならず「いい町ですね、心が安まります。」とおっしゃる数多い観光客に、改めて佐原の良さを感じる昨今。さて、重伝建指定後は、市民のみなさんが伝手を求めて宣伝し、心を込めて佐原の情緒を味わって頂けるよう努力しようではありませんか。

(野口正博氏)

個性あるまちを外へアピール
「小さな世界都市」という言葉は初めて聞く言葉でありましたが、この千葉県主催のシンポジウム第一回目が佐原で行われたという点と、又、先日関東で初めて「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されたということも頭をよぎり、佐原というまちは、外から見ると特色ある、個性あるまちに見られ、外へアピール出来ているのかなあと思つた次第です。これからは、佐原も個性あるまちづくりを市民にも意識を持ってもらいたい、市民全体で一緒に動いて行けたら良いと思ひました。



シンポジウムへ参加した方々の一声

- ・「まちづくりは、住民が行う」の意味を深く考えようと思います。
- ・佐原を誇りと思えるようになりました。
- ・小野川の水質を浄化すべきだと思います。
- ・今回のシンポジウムは共感できるものがあり、素晴らしかった。
- ・町並みを考える会の皆様ご苦労さん。
- ・アグネスのまちづくりに対する感性に感心しました。
- ・佐原も覚悟を決めてまちづくりをすべきです。
- ・佐原の町並みに大きな資源価値があるとは気づきませんでした。
- ・町並みを活かすことを検討すべきです。
- ・アグネスの迫力に圧倒されました。佐原も、元気を出さないと感じました。
- ・小森孝一さんの祭りを活かしたまちづくりに期待します。
- ・アグネスに佐原のまちづくりのアドバイザーになって欲しい。